

⑨ 日本国特許庁 (JP)  
⑫ 公開特許公報 (A)

⑩ 特許出願公開  
昭58—67683

⑤ Int. Cl.<sup>3</sup>  
C 07 D 311/68  
405/06  
// A 61 K 31/40  
31/445

識別記号

ABU

庁内整理番号

7169—4C  
8214—4C

⑬ 公開 昭和58年(1983)4月22日

発明の数 7  
審査請求 未請求

(全 21 頁)

⑭ 活性化合物、その製法およびそれを含む医薬組成物

⑯ 特 願 昭57—166437

⑰ 出 願 昭57(1982)9月24日

優先権主張 ⑱ 1981年9月25日 ⑲ イギリス (GB) ⑳ 29064

㉑ 発 明 者 ジョン・モーリス・エバンス  
イギリス国エセツクス州ロイド  
ン・オールドハウス・レーン・  
カタ (番地なし)

㉒ 発 明 者 ロビン・エドウィン・バツキン

ガム

イギリス国ハートフォードシャ  
ー州ウエル・ウインガーデンシ  
テイ・ネラロード291番

㉓ 出 願 人 ビーチヤム・グレーブ・ビーエ  
ルシー

イギリス国ミドルセツクス州ブ  
レントフォード・グレート・ウ  
エストロード・ビーチヤムハウ  
ス (番地なし)

㉔ 代 理 人 弁理士 秋沢政光 外1名  
最終頁に続く

明細書の浄書(内容に変更なし)

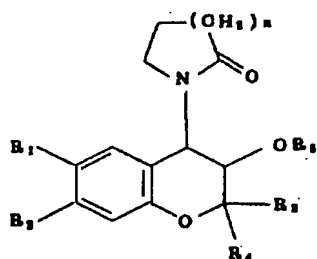
明 細 書

1 発明の名称

活性化合物、その製法およびそれを含む医  
薬組成物

2 特許請求の範囲

(1) 式(I)



(I)

(式中、B<sub>1</sub> 及び B<sub>2</sub> の一方は水素であり、他方はアルキルカルボニル、アルコキシカルボニル、アルキルカルボニルオキシ、アルキルヒドロキシメチル、ニトロ、シアノ、タロル、トリフルオロメチル、アルキルスルフィニル、アルキルスルホニル、アルコキシスルフィニル、アルコキシスル

ホニル、アルキルカルボニルアミノ、アルコキシカルボニルアミノ、またはアミノ部分が1または2個のアルキル基で置換されていてもよいアミノスルフィニル、アミノスルホニルもしくはアミノカルボニル、またはアルキルスルフィニルアミノ、アルキルスルホニルアミノ、アルコキシスルフィニルアミノもしくはアルコキシスルホニルアミノ末端がアルキルカルボニル、ニトロもしくはシアノ、または-O(アルキル)NOHもしくは-O(アルキル)NNH<sub>2</sub>により置換されたエチレニルからなる群から選択され、ここでアルキル基またはアルキル含有基のアルキル部分は1~6個の炭素原子を有しており、

B<sub>3</sub> 及び B<sub>4</sub> の一方は水素または1~4個の炭素原子を有するアルキルであり、他方は1~4個の炭素原子を有するアルキルであるか、あるいは B<sub>3</sub> 及び B<sub>4</sub> はそれらが結合している炭素と共に3~6個の炭素原子を有するスピロアルキルであり、

B<sub>4</sub> は水素、1~3個の炭素原子を有するアル